PROSPEC

DVE784

DIGITAL VIDEO EDITOR

取扱説明書

●このたびはプロスペック デジタルビデオエディターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●本製品を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

●お読みになったあとは大切に保管してください。

http://www.prospec.co.jp/

目次

目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
梱包内容 / 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

基本編
電源を入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
電源を切る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
再生機器を選ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～8

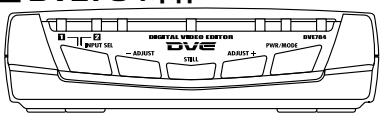
応用編
明るさを調整したい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
色あいを調整したい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
ざらつきノイズが気になる・・・・・・・・・・・・・・・・11
一時停止をおこなう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
0.5 秒間隔のコマ送りをおこなう・・・・・・・・・・・・・13
1 秒間隔のコマ送りをおこなう・・・・・・・・・・・・・・14
映像を最適な明るさにしたい・・・・・・・・・・・・・・・15～17
出力を16:9のワイド映像に固定したい・・・・・・・・・・18
カラーバーを出力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
工場出荷時の状態(初期値)に戻す・・・・・・・・・・・・20

接続編
接続の前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21～22
接続のしかた -S端子ケーブルを使用する接続 -・・・・・・・23～24
接続のしかた -専用接続ケーブルを使用する接続 -・・・・・・25～26
プレイステーション2との接続・・・・・・・・・・・・・・27～28
ハイブリッドレコーダーとの接続・・・・・・・・・・・・・29～30
ビデオ入力端子のあるパソコンとの接続・・・・・・・・・・31～32

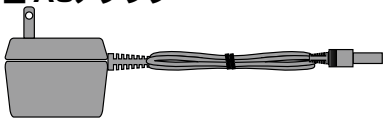
故障かな？と思ったら -使用中のトラブルと回避方法-・・・・33
故障かな？と思ったら -Q&A-・・・・・・・・・・・・・・・34

梱包内容

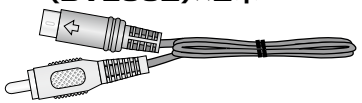
■ DVE784本体



■ ACアダプター

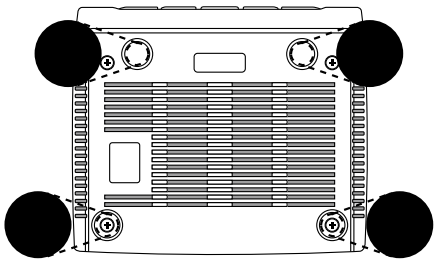


■ 専用接続ケーブル (DVE002)×2本



■ 滑り止めシール

下図のようにDVE784本体底面に貼り付けてください。



■ 取扱説明書(本書)

■ ユーザー登録保証カード

仕様

本体仕様

- 消費電力：3W以下
- 定格入力電圧：DC6V
- 電源端子：ACアダプター用ジャック
- 映像信号：NTSC（525i）
- 映像入力：S端子×2（金メッキ）※
- 映像出力：S端子×1（金メッキ）

※セパレート信号 / コンポジット信号対応

- 音声入力：φ3.5ステレオミニジャック×2
- 音声出力：φ3.5ステレオミニジャック×1
- ボディーカラー：シルバーメタリック
- スイッチ部：クロームメッキ
- 重　　量：180g
- 本体材質：ABS樹脂
- 本体寸法：W118mm×D98.4mm×H32.8mm

ACアダプター仕様

- 入力：AC100V　50/60Hz
- 出力：DC6V　800mA
- プラグ：センターマイナス

使用上の注意

安全のため必ずお守りください

表示の意味は次の通りです。

禁止	禁止を表します
⚠注意	守らないと傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性があります
重要	使用する上で重要な事項を示します

禁止

- 他人の著作物を無断で編集・録画することは禁止されております。著作権者に無断で編集・録画をおこなった場合、著作権を侵害することになりますので十分ご留意ください。また、本製品を使用して編集・録画された映像、またはその複製物に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内専用です。絶対に日本国外では使用しないでください。日本国外に持ち出された時点で保証対象外となります。また、サポートも一切致しません。
- 本製品底面に貼付されている**封印シールを剥がさない**でください。剥がすと保証期間に関わらず保証対象外となります。

⚠注意

- 必ず付属の AC アダプターを使用してください。また、本製品は AC100V 以外では絶対に使用しないでください。
- 本製品は精密機器です。強い衝撃を与えたり、高温・多湿・ホコリの多い場所・風通しの悪い場所・直射日光の当たる場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となります。

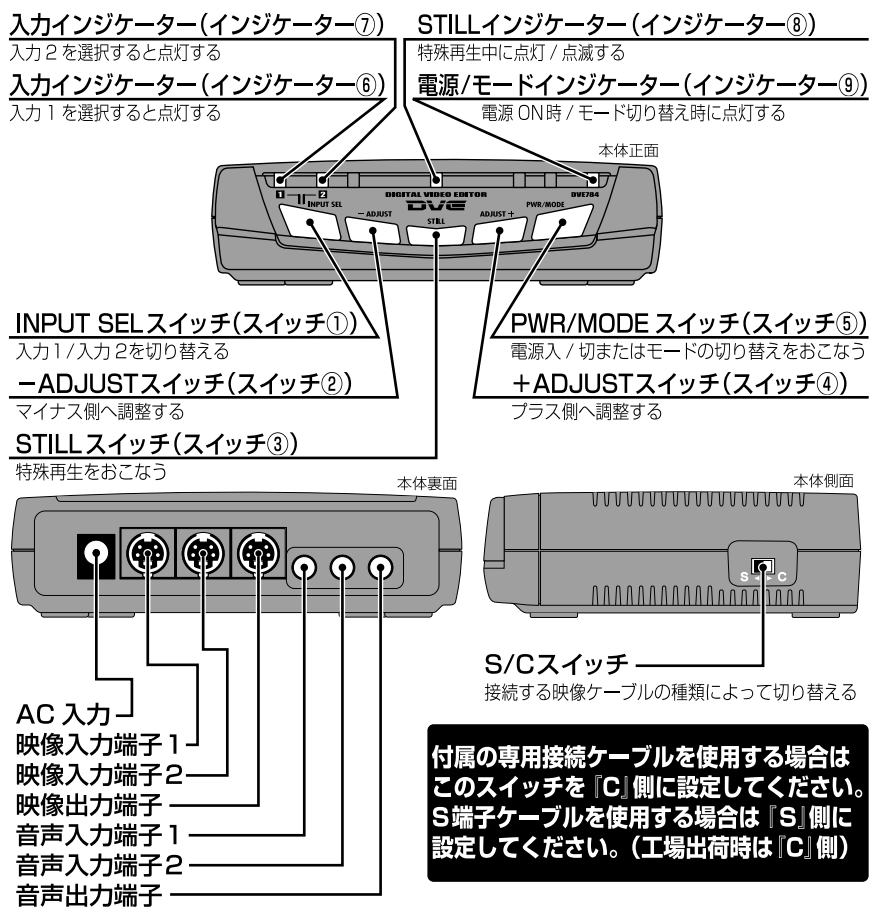
重要

- 本製品で映像を合成することはできません。
- ダビングされたソフト・海賊版ソフト・すでにノイズが含まれたソフトなどを編集素材に使用した場合、映像を安定させる機能や明るさ調整機能などが正常に働かない場合があります。
- 本製品を使用したダビング時にごく稀に映像が乱れる場合があります。このような場合は再生機器と録画機器を入れ替えてみてください。
- VHS での3倍録画や DVD・HDD での低レート録画によって劣化した映像を本製品で補正することはできません。
- 本製品で成人用ビデオなどのモザイク処理を除去することはできません。
- 本製品で不正視聴防止用スクランブル信号を除去することはできません。
- 本製品の画質補正能力を超えたビデオソースを編集すると、画質が低下する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は家庭用に設計されています。長時間の使用や高精度な画質補正を要する業務用には適しません。
- 水平解像度は映像の帯域を示します。解像度の低い映像はそのままの解像度で出力されます。
- 本体が多少熱を持つ場合がありますが故障ではありません。

重要

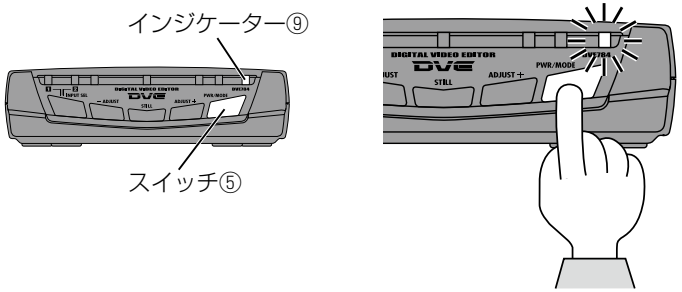
- 本製品はNTSC(525 i)規格のビデオ信号に対応しています。
- 検査・修理をご依頼の際は、必ず必要事項が全て記入された保証書を添えてお送りください。保証書が無い場合、検査・修理・その他の費用は全て有料となります。

各部名称



付属の専用接続ケーブルを使用する場合はこのスイッチを『C』側に設定してください。S端子ケーブルを使用する場合は『S』側に設定してください。(工場出荷時は『C』側)

電源を入れる



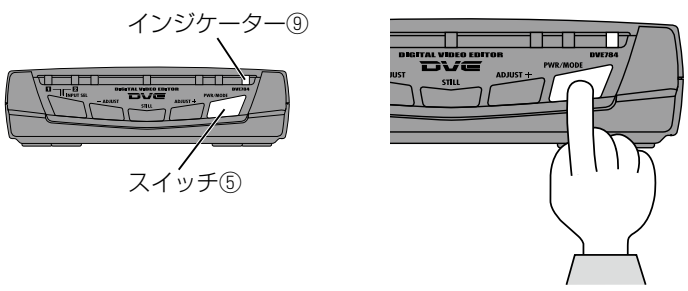
1 スイッチ⑤を押す。

2 インジケーター⑨が点灯し、電源が入る。

！ワンポイント！

・電源を入れた状態でACアダプターを外すと電源が切れますが、再びACアダプターを差し込むと自動的に電源が入ります。

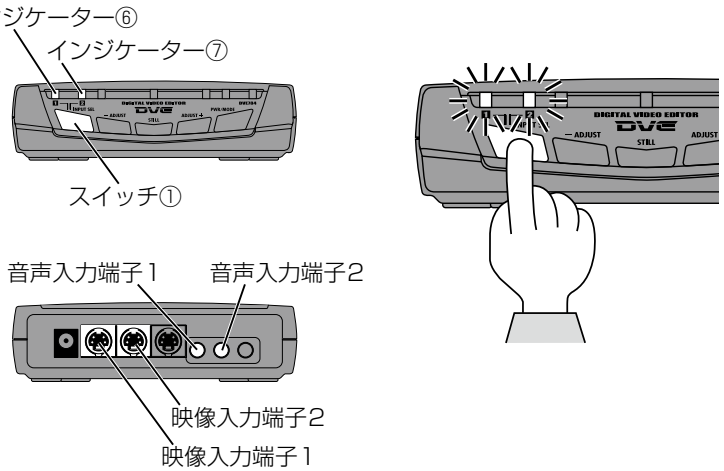
電源を切る



1 スイッチ⑤を**2秒以上**押し続ける。

2 インジケーター⑨が消灯し、電源が切れる。

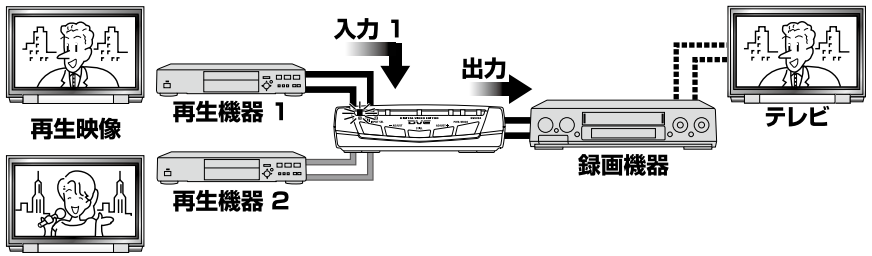
再生機器を選ぶ



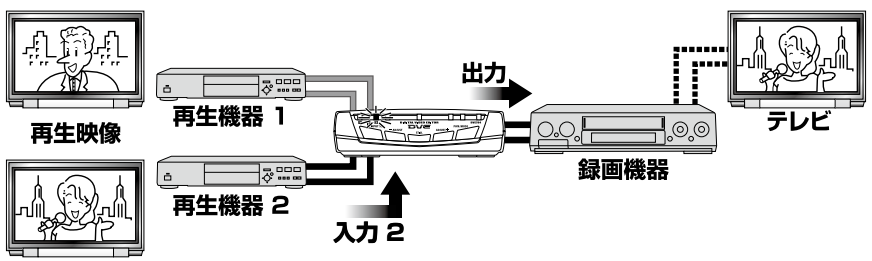
1 スイッチ①を押すごとにインジケーター⑥とインジケーター⑦が交互に点灯する。

2 インジケーター⑥が点灯しているときは、映像入力端子1及び音声入力端子1に接続している機器が選択される。
インジケーター⑦が点灯しているときは、映像入力端子2及び音声入力端子2に接続している機器が選択される。

入力1を選択した場合



入力2を選択した場合

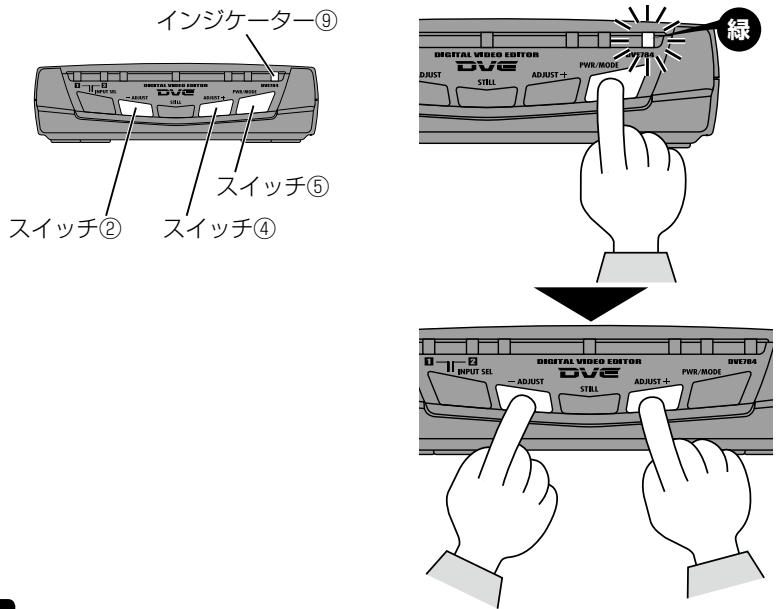


！ワンポイント！

・設定状態は電源を切ったり AC アダプターを外しても記憶されています。
・電源を切ると、直前に選択していた再生機器の映像及び音声がスルーされ、そのまま出力されます。
・再生機器を切り替えたときに本体より「カチッ」と音がしますが、故障や異常ではありません。

明るさを調整したい

ブライトコントロール機能



1 スイッチ⑤を数回押してインジケーター⑨を緑色に切り替える。

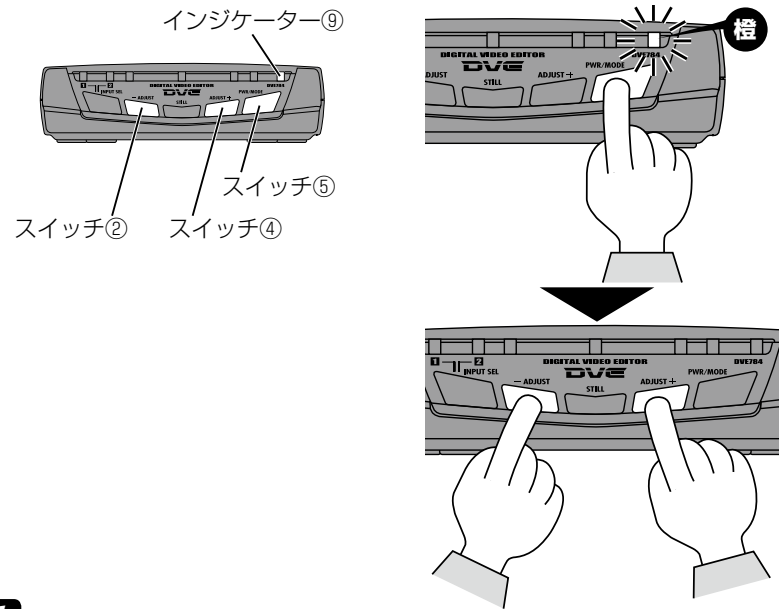
2 スイッチ②を押すと暗方向（最大5段階）、スイッチ④を押すと明方向（最大5段階）に明るさが変化する。

！ワンポイント！

・設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶されています。
・入力1・入力2別々に設定できます。

色あいを調整したい

色あいコントロール機能



1 スイッチ⑤を数回押してインジケーター⑨を橙色に切り替える。

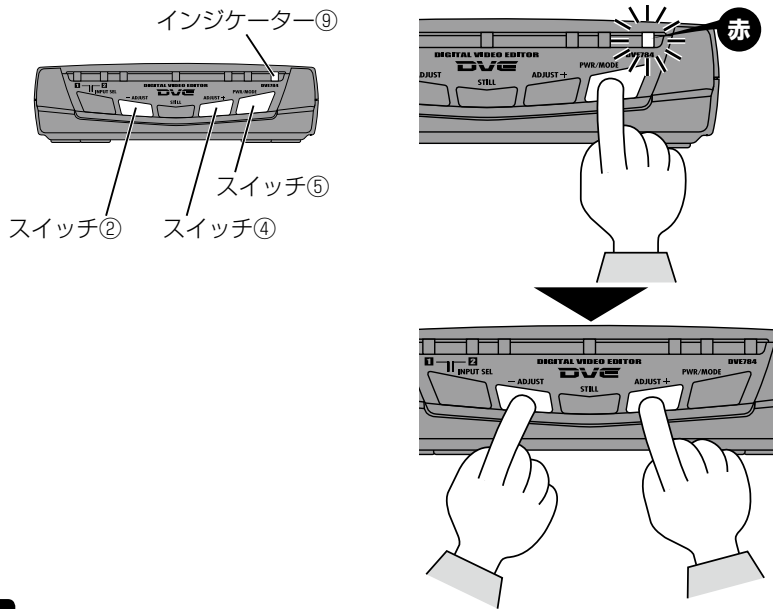
2 スイッチ②を押すと赤方向（最大5段階）、スイッチ④を押すと緑方向（最大5段階）に色あいが変化する。

！ワンポイント！

・設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶されています。
・入力1・入力2別々に設定できます。

ざらつきノイズが気になる

ノイズリダクション機能



1 スイッチ⑤を数回押してインジケーター⑨を赤色に切り替える。

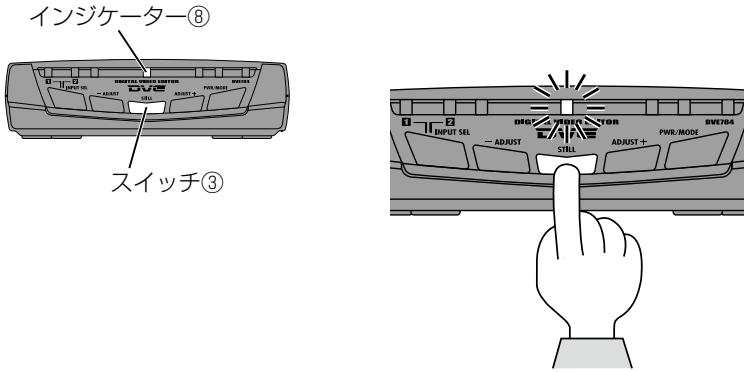
2 スイッチ②を押すとノイズリダクションOFF、スイッチ④を押すとノイズリダクションONとなる。

！ワンポイント！

・設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶されています。
・入力1・入力2別々に設定できます。
・ノイズリダクション機能はノイズを低減させる機能です。映像の状態によっては効果が分かりにくい場合があります。

一時停止をおこなう

特殊再生機能



1 スイッチ③を押すと、インジケーター⑧が点灯して再生映像が一時停止状態になる。

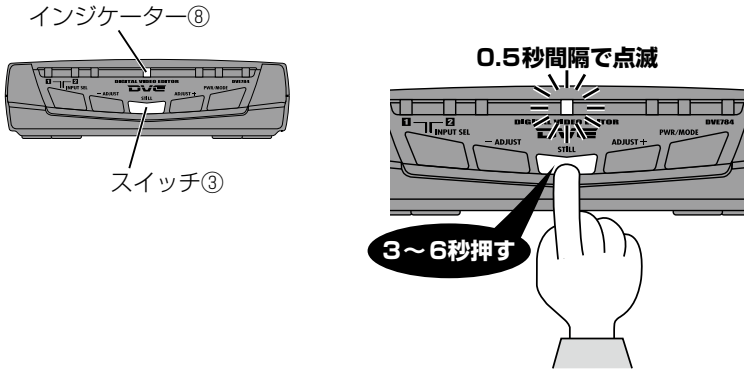
2 もう一度スイッチ③を押すと、インジケーター⑧が消灯して一時停止状態が解除される。

！ワンポイント！

・スイッチ③を押してから3秒以内に指を離してください。
・設定状態は入力系統を切り替えたり電源を切ったりすると解除されます。
・特殊再生中はブライトコントロール機能・色あいコントロール機能を設定できません。また、ノイズリダクション機能は自動的にOFFになります。

0.5秒間隔のコマ送りをおこなう

特殊再生機能



1 スイッチ③を３秒以上６秒以内の間隔で押すと、インジケーター⑧が0.5秒間隔で点滅し、再生映像が0.5秒間隔のコマ送り状態になる。

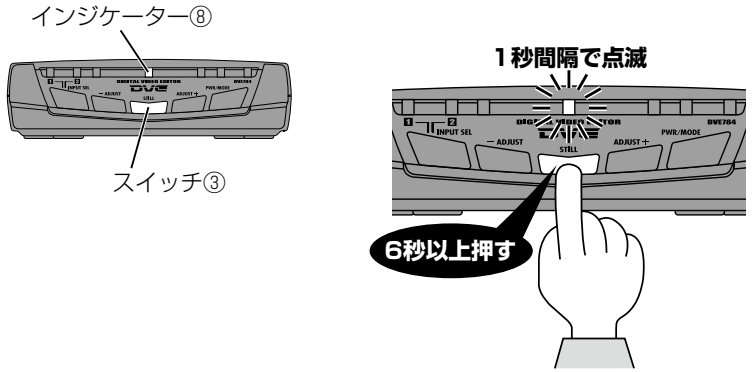
2 もう一度スイッチ③を押すと、インジケーター⑧が消灯してコマ送り状態が解除される。

！ワンポイント！

・設定状態は入力系統を切り替えたり電源を切ったりすると解除されます。
・特殊再生中はブライトコントロール機能・色あいコントロール機能を設定できません。また、ノイズリダクション機能は自動的にOFFになります。

１秒間隔のコマ送りをおこなう

特殊再生機能



1 スイッチ③を6秒以上押し続ける※と、インジケーター⑧が1秒間隔で点滅し、再生映像が1秒間隔のコマ送り状態になる。

2 もう一度スイッチ③を押すと、インジケーター⑧が消灯してコマ送り状態が解除される。

※0.5秒間隔のコマ送り中にスイッチ③を3秒以上押し続けても、1秒間隔のコマ送りをおこないます。

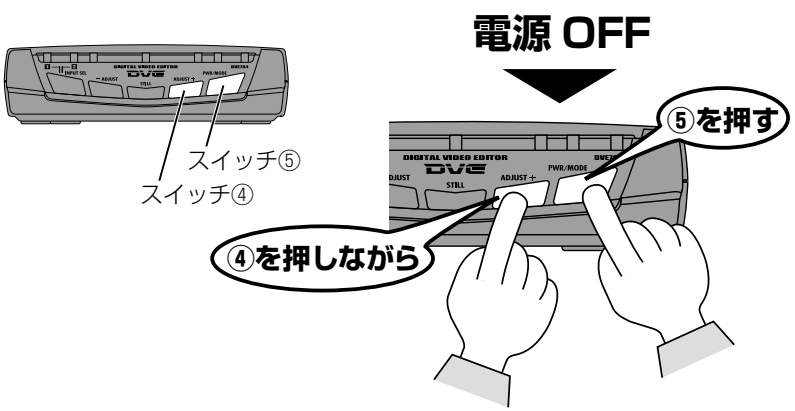
！ワンポイント！

・設定状態は入力系統を切り替えたり電源を切ったりすると解除されます。
・特殊再生中はブライトコントロール機能・色あいコントロール機能を設定できません。また、ノイズリダクション機能は自動的にOFFになります。

映像を最適な明るさにしたい

AGC機能

[入力 1・入力 2 を同時にONにする場合]



1 電源を切る。(6 ページ参照)

2 スイッチ④を押しながらスイッチ⑤を押して電源を入れる。

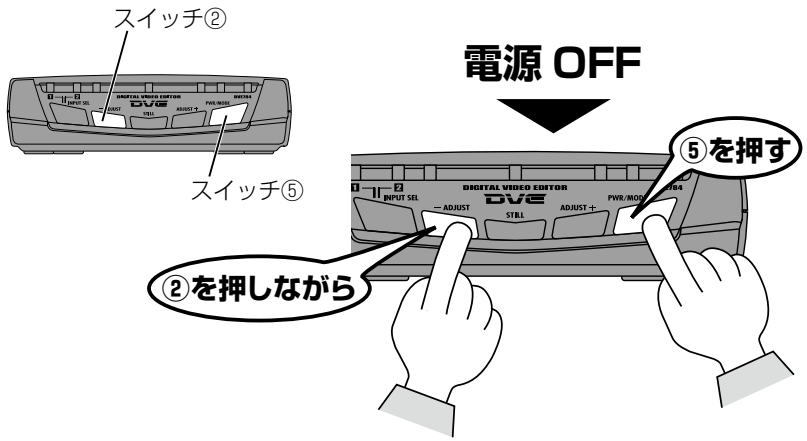
！ワンポイント！

AGC（オートゲインコントロール）機能…映像信号を最適レベルに自動調整する機能

- 切り替え操作中は、画面に映像が出るまでスイッチから指を離さないでください。指を早く離してしまうと切り替わらない場合があります。
- 設定状態は電源を切ったり AC アダプターを外しても記憶されています。
- **基本的に DVD 映像信号を入力するときは AGC-OFFに設定してください。DVD 映像以外の映像信号を入力するときは AGC-ONに設定してください。**
- 場合によってはブライトコントロール機能と併用し最適な明るさに調整してください。
- 工場出荷時は入力 1/ 入力 2 とも OFFに設定されています。

AGC機能

[入力 1・入力 2 を同時にOFFにする場合]



1 電源を切る。(6 ページ参照)

2 スイッチ②を押しながらスイッチ⑤を押して電源を入れる。

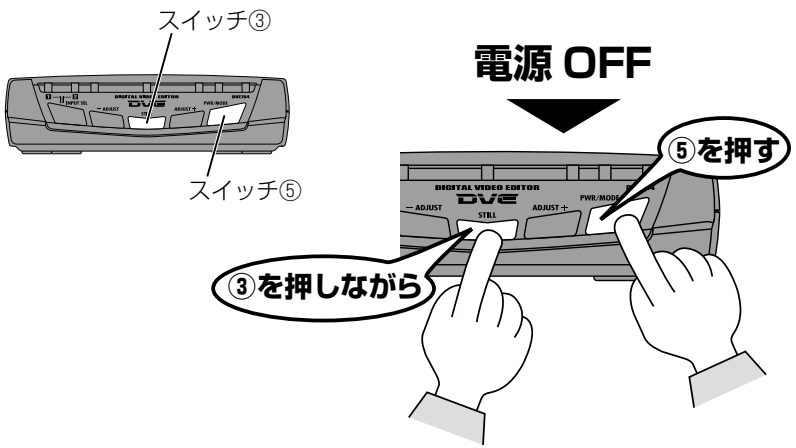
！ワンポイント！

- 切り替え操作中は、画面に映像が出るまでスイッチから指を離さないでください。指を早く離してしまうと切り替わらない場合があります。
- 設定状態は電源を切ったり AC アダプターを外しても記憶されています。
- **基本的に DVD 映像信号を入力するときは AGC-OFFに設定してください。DVD 映像以外の映像信号を入力するときは AGC-ONに設定してください。**
- 場合によってはブライトコントロール機能と併用し最適な明るさに調整してください。
- 工場出荷時は入力 1/ 入力 2 とも OFFに設定されています。

映像を最適な明るさにしたい

AGC機能

[入力1をOFF、入力2をONにする場合]



1 電源を切る。(6 ページ参照)

2 スイッチ③を押しながらスイッチ⑤を押して電源を入れる。

！ワンポイント！

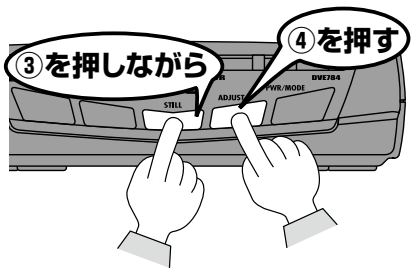
・切り替え操作中は、画面に映像が出るまでスイッチから指を離さないでください。指を早く離してしまうと切り替わらない場合があります。
・設定状態は電源を切ったり AC アダプターを外しても記憶されています。
・**基本的に DVD 映像信号を入力するときは AGC-OFFに設定してください。DVD 映像以外の映像信号を入力するときは AGC-ONに設定してください。**
・場合によってはブライトコントロール機能と併用し最適な明るさに調整してください。
・工場出荷時は入力 1/ 入力 2とも OFFに設定されています。

出力を16:9のワイド映像に固定したい

ワイド識別信号強制出力機能

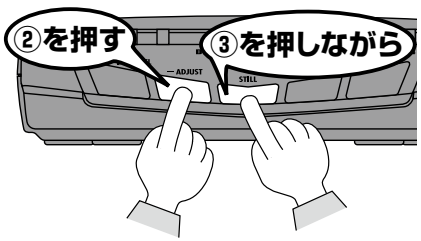
ワイド識別信号を強制出力する

1 スイッチ③を押しながらスイッチ④を押すと、ワイド識別信号 ID-1(スクイーズ16：9)を強制出力する。



オート(初期状態)に戻す

1 スイッチ③を押しながらスイッチ②を押すと、オート (初期状態) に戻る。



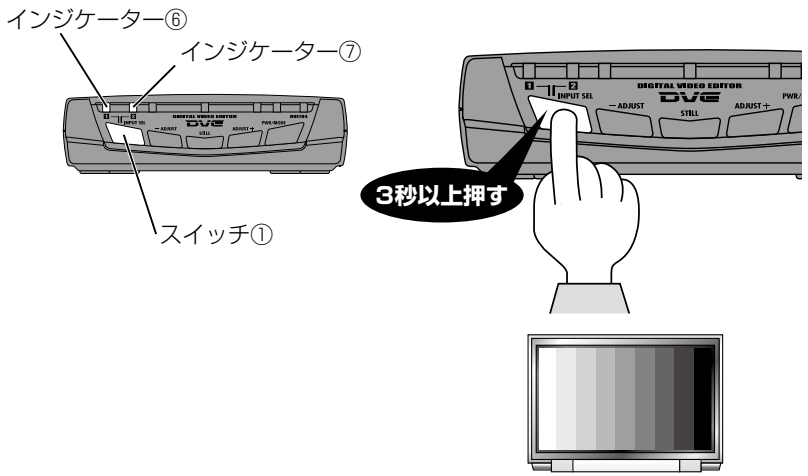
！ワンポイント！

・設定状態は電源を切ったり AC アダプターを外しても記憶されています。
・入力 1・入力 2 別々に設定できます。

⚠ご注意

・ワイド識別信号 ID-1を強制出力すると、入力されたワイド識別信号S1/S2はカットされます。
・録画側機器がID-1に対応していても、録画側機器に接続しているテレビがID-1に対応していない場合は正常に表示しません。
・録画側機器がID-1に対応していない場合はオートに設定してください。
・録画側機器がID-1に対応していても、録画側機器とテレビをD端子ケーブルを使用して接続している場合、録画側機器の仕様によっては正常に表示しない場合があります。このような場合はテレビ側でアスペクト比の切り替え設定をおこなうか(ワイドテレビの場合)、またはD端子の代わりにS端子ケーブルかピン端子ケーブルを使用してください。
・録画側機器がID-1に対応していても、使用するメディアと記録方法によってはID-1が消去されてしまう場合があります。詳しくは機器の取扱説明書をご参照ください。

カラーバーを出力する



カラーバーを出力する

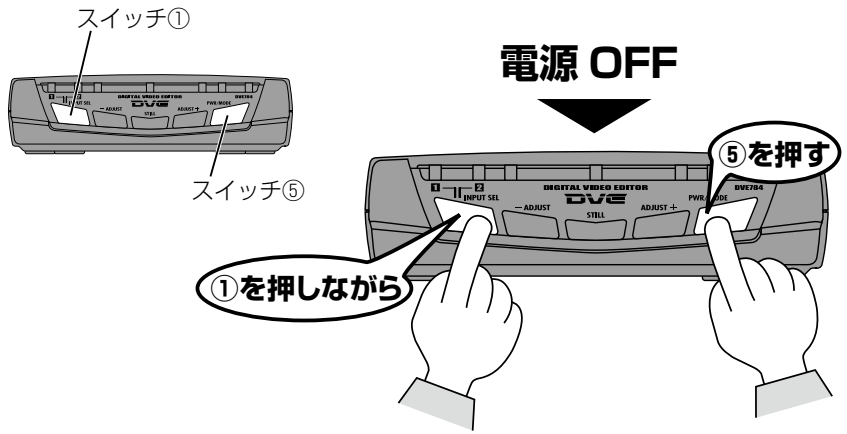
1 スイッチ①を3秒以上押し続ける。

2 インジケーター⑥と⑦が消灯し、カラーバーが出力される。

元に戻す

1 再度スイッチ①を押すか、または電源を切ると元の状態に戻る。

工場出荷時の状態（初期値）に戻す



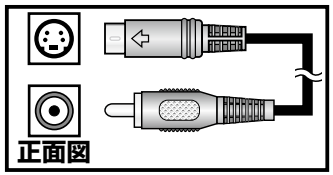
1 電源が入っていない状態で、スイッチ①を押しながらスイッチ⑤を押して電源を入れる。

2 各種設定が初期値に戻る。

接続の前に

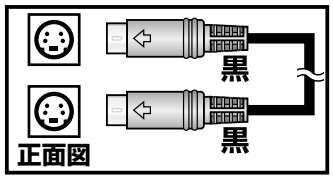
●接続に使用する端子の種類

本製品と再生機器 / 録画機器を接続するために必要な端子例です。



専用接続ケーブル[DVE002]
映像用（同梱品）

映像接続用のケーブルです。ピン端子を使用して接続する場合に使用します。(2本同梱されています)

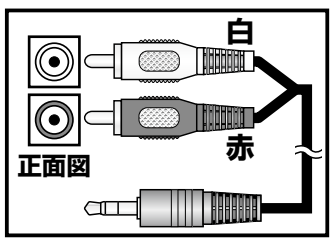


S端子ケーブル[DVE001]
映像用（別売品）

映像接続用のケーブルです。ピン端子と比べ、より高画質な映像を楽しめます。（必要に応じて別途お買い求めください）　※市販品代用可

⚠ご注意

S端子ケーブルと専用接続ケーブル[DVE002]は同時に使用できませんので、必ず入力側と出力側の映像ケーブルはすべて同じ種類ものを使用してください。S端子ケーブルとDVE002を混合使用した場合、映像が白黒になります。



専用接続ケーブル[DVE003]
音声用（別売品）

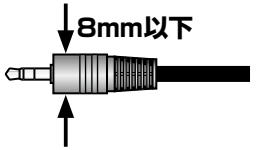
音声接続用のケーブルです（必要に応じて別途お買い求めください）。セレクター機能を使用する場合に必要です。市販の「ピンプラグ / ステレオミニプラグ変換ケーブル」もご使用になれますが、ステレオミニプラグ側のグリップ径にご注意ください(22 ページ「市販の音声接続用ケーブル グリップ径について」参照)。

●市販の音声接続用ケーブル グリップ径について

セレクター機能を使用する場合、別途専用接続ケーブルDVE003（別売品）が必要になります。DVE003の代わりに市販の「ピンプラグ / ステレオミニプラグ変換ケーブル」を使用する場合、**ステレオミニプラグ側のグリップ径が8mm以下、**かつ**抵抗なし**のものをご用意ください。

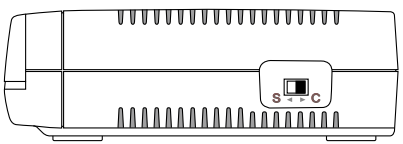
⚠ご注意

無理に差し込むと端子やDVE784本体を破損する恐れがあります。



●スライドスイッチの設定

同梱されている**専用接続ケーブルDVE002を使用する場合は、スライドスイッチを「C」**に、**S端子ケーブルを使用する場合は「S」**に設定してください。工場出荷時は「C」側にセットされています。



専用接続ケーブル
DVE002を使用する場合

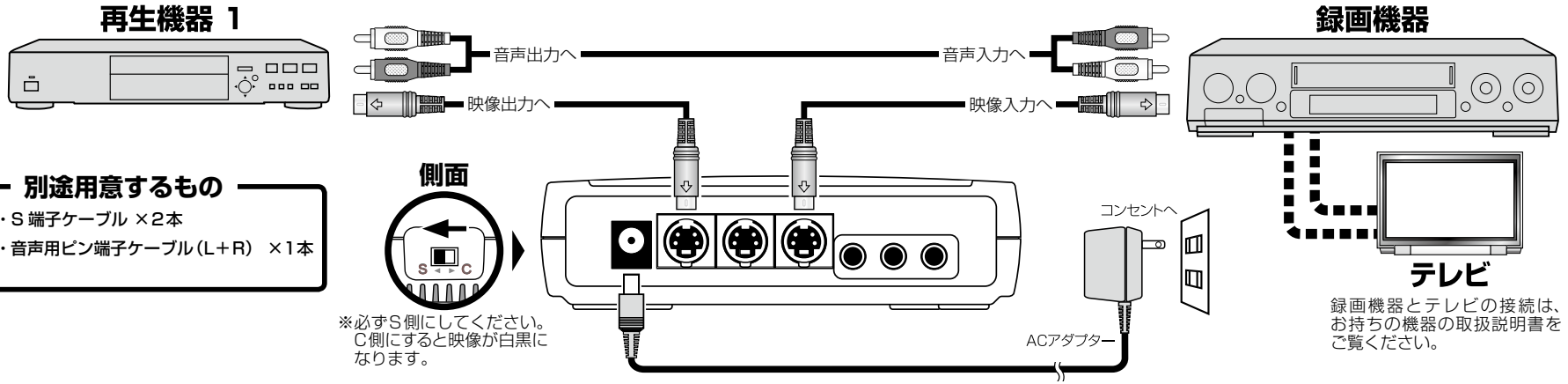
S端子ケーブルを
使用する場合

接続のしかた

S端子ケーブル（別売）を使用して接続する

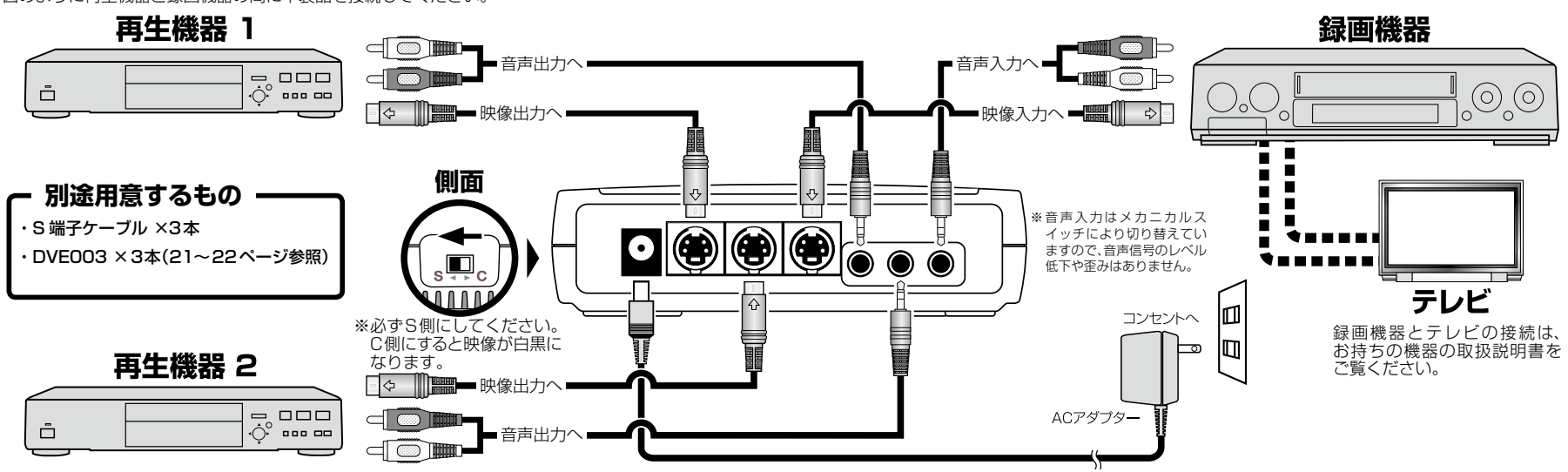
セレクター機能を使用しない場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



セレクター機能を使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。

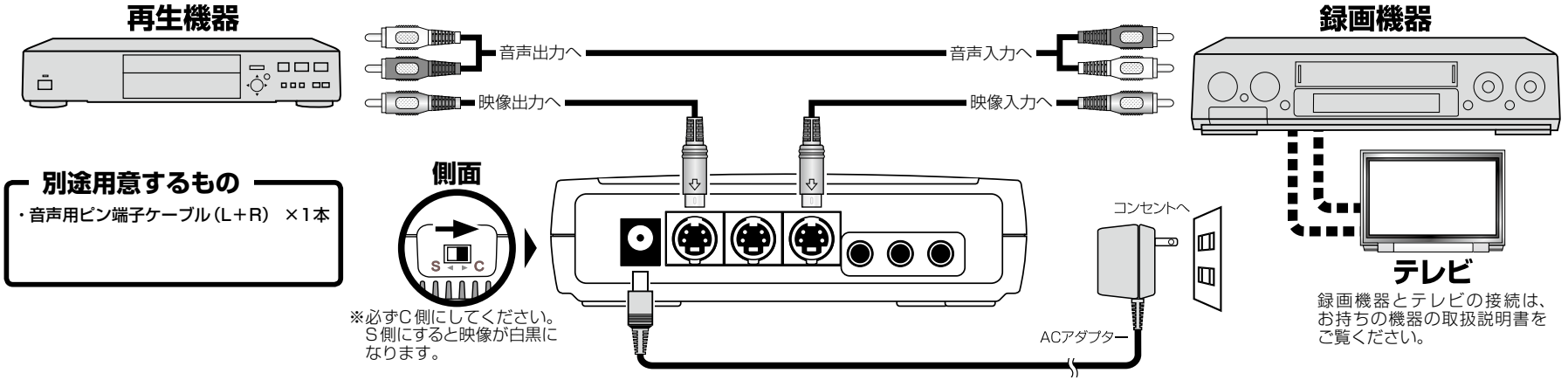


接続のしかた

専用接続ケーブル(同梱品)を使用して接続する

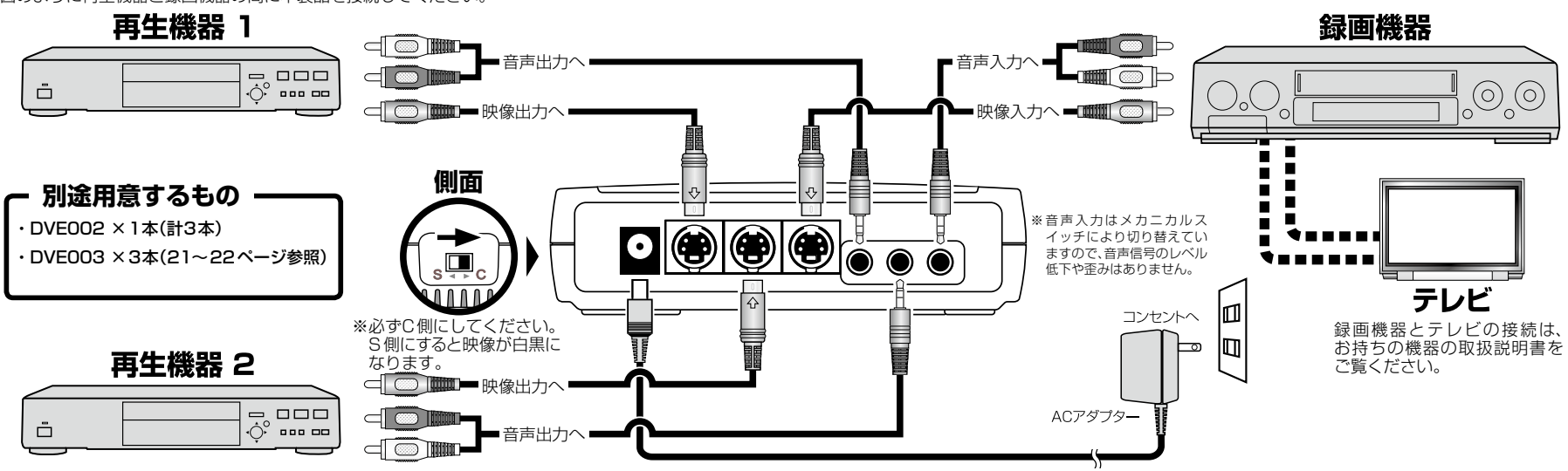
セレクター機能を使用しない場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



セレクター機能を使用する場合

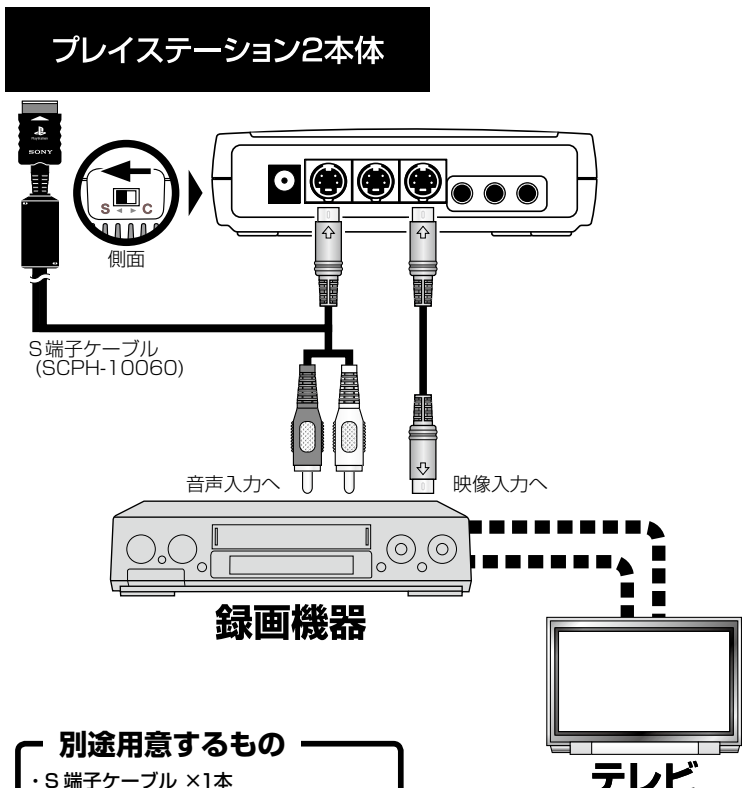
下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



プレイステーション2との接続

プレイステーション2を再生機器として使用できます。(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントより発売されているS端子ケーブル(SCPH-10060)を使用するとより高画質な映像を楽しめます。お近くのソニー製品販売店などでお買い求めください。

S端子ケーブル(SCPH-10060)を使用する場合

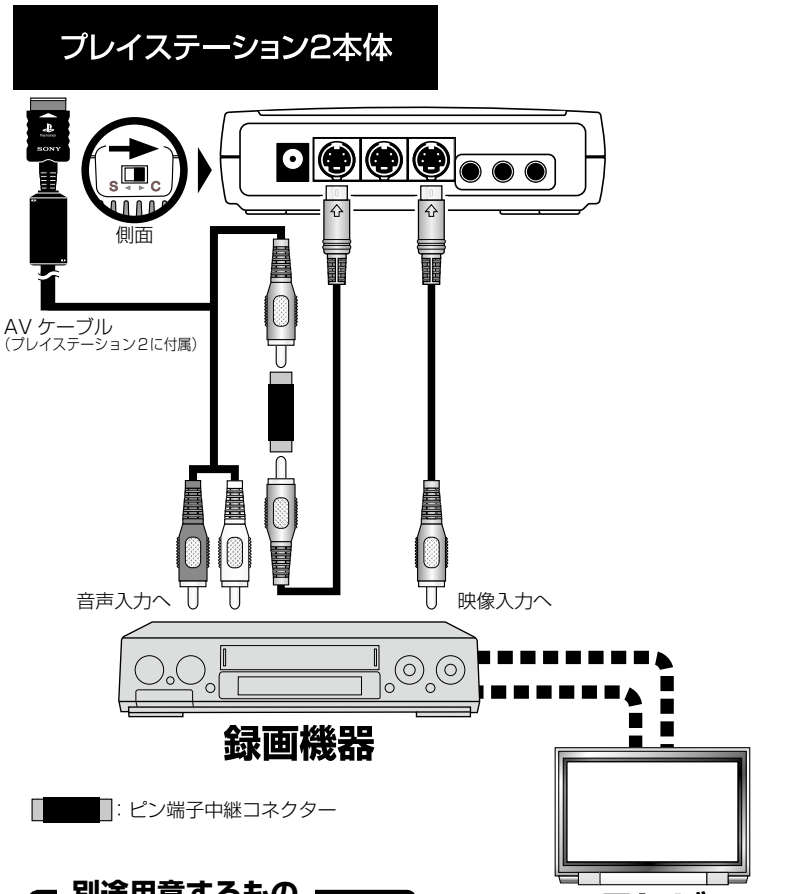


別途用意するもの

・S端子ケーブル ×1本

録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

プレイステーション2本体に付属の AVケーブルを使用する場合



: ピン端子中継コネクター

別途用意するもの

・ピン端子中継コネクター(市販品) ×1個

録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

プレイステーション 2 は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

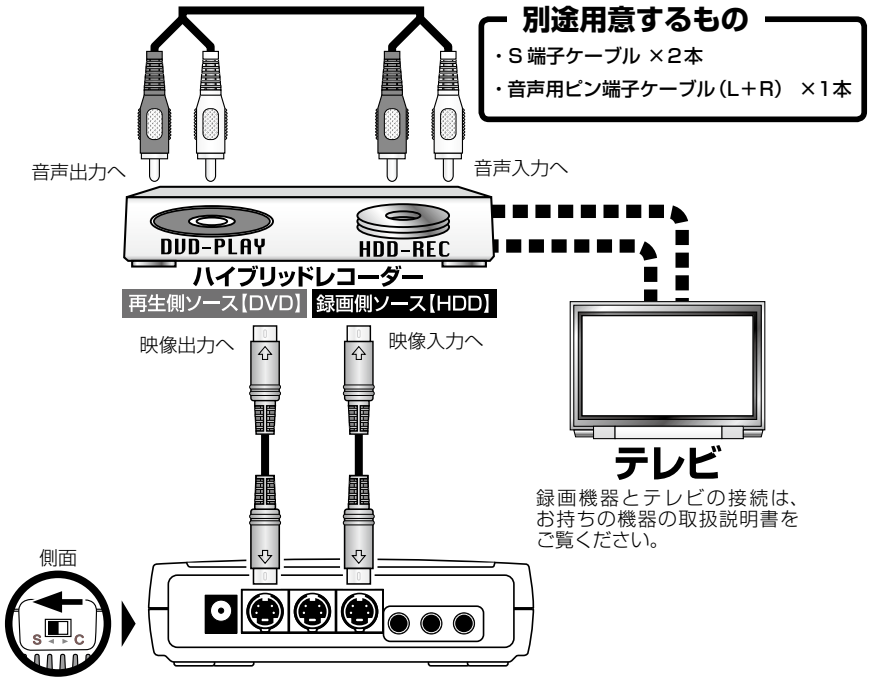
ハイブリッドレコーダーとの接続

※ハイブリッドレコーダー：ハードディスクとDVDなど録画メディアが複数ある機器

ハイブリッドレコーダー（HDD&DVD 一体型機など）1台のみでDVDを再生して、HDDに一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。

S端子ケーブルを使用する場合

別途用意するもの
- S端子ケーブル ×2本
- 音声用ピン端子ケーブル（L＋R） ×1本



録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

録画手順

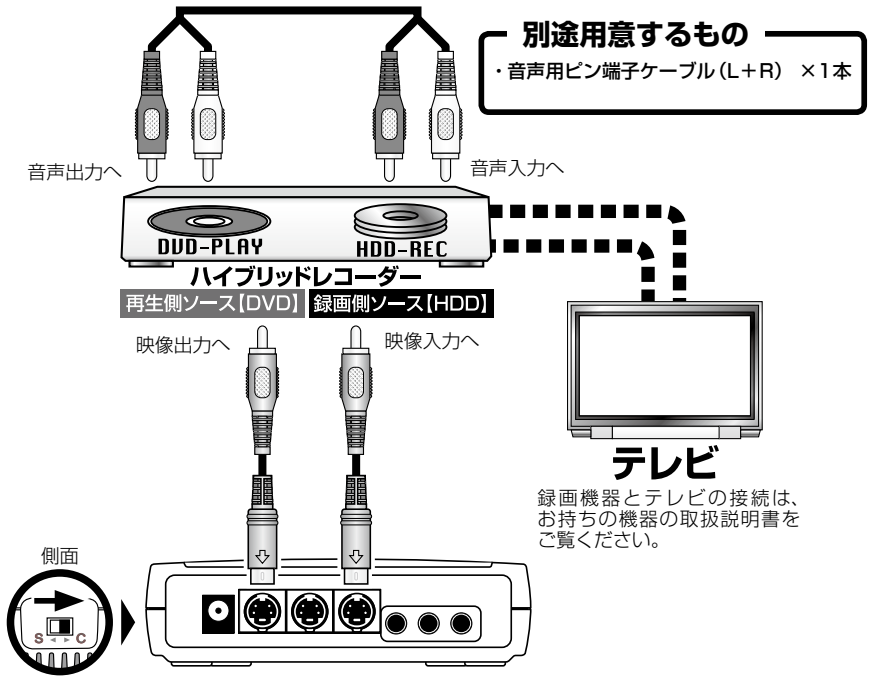
最初にHDDに切り替え、チャンネルを外部入力（L1･L2など）に設定します。そして編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

！ワンポイント！

- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本製品の回路を通した映像ではありません。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD 再生をスタートした時点で治まります。

専用接続ケーブル（同梱品）を使用する場合

別途用意するもの
- 音声用ピン端子ケーブル（L＋R） ×1本



録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

録画手順

最初にHDDに切り替え、チャンネルを外部入力（L1･L2など）に設定します。そして編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

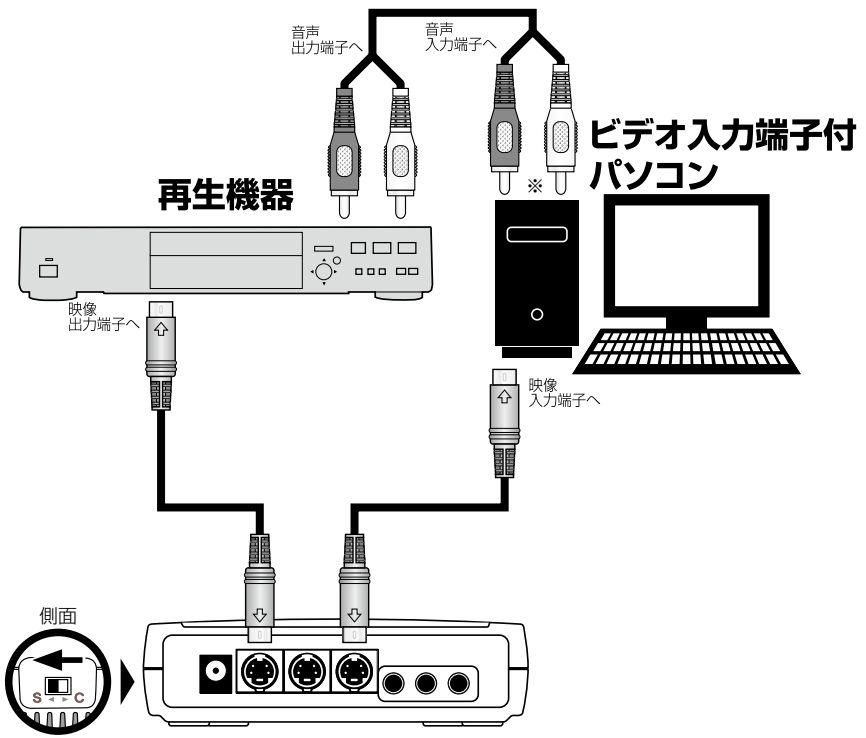
！ワンポイント！

- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本製品の回路を通した映像ではありません。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD 再生をスタートした時点で治まります。

ビデオ入力端子のあるパソコンとの接続

ビデオ入力端子を装備しているパソコンをお持ちの場合、本製品で編集した映像 / 音声をパソコンに取り込むことができます。※別途編集用のソフトを必要とする場合があります。

S端子ケーブルを使用する場合



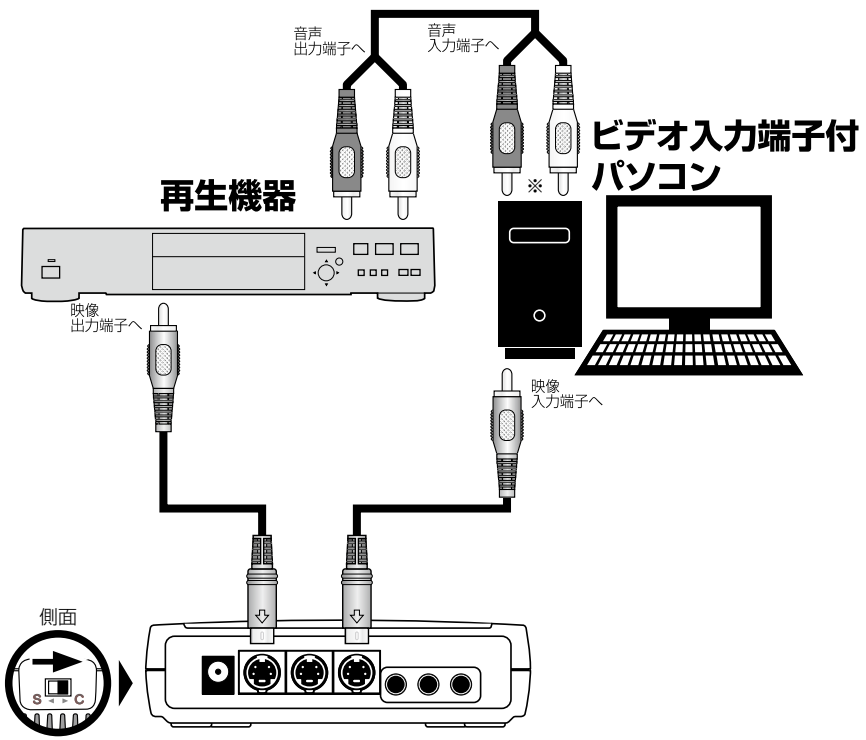
別途用意するもの

・S 端子ケーブル ×2本

・音声用ピン端子ケーブル(L+R) ×1本※

※パソコン側の入力ジャック形状により、ケーブルが図のものと異なる場合があります。

専用接続ケーブル（同梱品）を使用する場合



別途用意するもの

・音声用ピン端子ケーブル(L+R) ×1本※

※パソコン側の入力ジャック形状により、ケーブルが図のものと異なる場合があります。

故障かな?と思ったら -使用中のトラブルと回避方法-

故障かな?…とお思いの時はアフターサービスをご依頼になる前に、つぎの点をお調べください

●映像が白黒になる

・本体横のS/Cスイッチは正しくセットされていますか。映像ケーブル全てがS端子ケーブルの場合、必ずS/Cスイッチを「S側」にしてください。映像ケーブル全てが専用接続ケーブルDVE002の場合、必ずS/Cスイッチを「C側」にしてください。
・S端子ケーブルとDVE002を混合使用している場合、S/Cスイッチに関わらず映像が白黒になりますので、映像ケーブルは必ず全て同じものを使用してください。

●再生機器の映像がテレビに映らない。黒またはブルー一色が表示される

・録画機の映像入力チャンネルは正しく設定されていますか?
・使用している映像ケーブルに断線、接続のゆるみはありませんか?
・再生機器からの映像信号が録画機器に伝わっていません。接続を再度ご確認ください。
・S-VHSデッキなど、入力した映像がセパレート信号(S端子ケーブル使用時)かコンポジット信号(ピン端子ケーブル使用時)かをデッキ側で手動で切り替える必要がある場合があります。そのような場合はデッキ側を正しくセットしてください。

●ワイド映像(16:9)が縦長(4:3)に映る

・専用接続ケーブル「DVE002」を使用し、かつ録画機器とテレビをD端子ケーブルで接続している場合、録画機器の種類によっては録画中にテレビに映る映像が縦長になる場合があります。ただし、録画されている映像信号の中にはワイド識別信号(ID-1)が残ります。
・本製品は入力されたワイド識別信号をそのまま出力しますが、再生機器と録画機器が同一のワイド識別信号(S1/S2またはID-1)に対応していない場合、ワイド識別信号は記録されません。
・16:9の映像が一瞬4:3の映像になってしまう場合、再生機器または映像信号に問題がある場合があります。このような場合は18ページ「出力を16:9のワイド映像に固定したい」をご参照ください。

●映像に波がでる

・付属品以外のACアダプターを使用していると発生する場合があります。付属品以外のACアダプターは本製品の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
・1つのテーブルタップに他の機器と合わせて接続していると発生する場合があります。ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。
・一部の接続機器(チューナー等)との相性により発生する場合があります。弊社にご相談ください。

●映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

・再生機器または録画機器のTBC機能がONになっていると発生する場合があります(TBC機能を有する場合)。再生機器または録画機器のTBC機能をOFFにしてください。
・再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

●映像がブレるまたはゴーストが発生する

・再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

●ビデオデッキ(アナログソース)側で一時停止やスロー再生をおこなうと、乱れた映像が出力される

・アナログソースに特殊効果を加えて本製品の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。このような場合は特殊効果を加えないでください。

●パソコンでキャプチャーした映像の端が乱れたり変色したりする

・通常テレビ画面上に映らない映像の端は元々不安定な信号となりますので、本製品のTBC処理により乱れたり変色したりする場合があります。

●パソコンでキャプチャーしたVHSテープ等の映像の下部分がブレる

・VHSビデオデッキ等のヘッドのスイッチングノイズによるもので、本製品の異常ではありません。

故障かな?と思ったら -Q&A-

Q 映像信号が入力されると録画が開始される録画機器で、タイマー録画をおこなうには?

A セッティング後、本製品の電源を入れたままにしておいてください。

Q レンタルビデオや経年劣化したビデオ(共にVHS)を編集する際の注意点は?

A レンタルビデオは再生する頻度が高くテープ自体が劣化している(傷んでいる)可能性がありますので、経年劣化したテープと同様に本製品では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズとして現れます。

Q S端子ケーブル・専用接続ケーブル「DVE002」以外の映像ケーブルは使用できますか?

A 使用できません。

Q 誤って本体に強い衝撃を加えてしまった、または本体に異物が入ったり水に濡れてしまった場合は?

A 直ちにACアダプターをコンセントから外し、弊社に点検・修理依頼をしてください。

Q 本製品に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は?

A 各機器に付属している取扱説明書をお読みいただくか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

PROSPEC

PROSPEC 株式会社プロスペック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2　TEL.03-5369-2791

検査・修理のお問い合わせは
倉敷支社（月～金曜日 AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:30 土日祝祭日を除く）
〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11　TEL.086-445-1509
※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

HomepageURL http://www.prospec.co.jp/

ご注意：当社に無断で当取扱説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製（コピー）・転用・転載を禁じます。

DVE784-0507-YM-SP20500